



出雲土木建築事務所
所長 門脇 廣

新年あけましておめでとうございます。

今年は、県の財政健全化計画・行財政改革、国と地方の税財政の見直しの“三位一体改革”など改革がさらに進む年となります。

当事務所においても、限られた予算をいかに効果的に活用し、住民の皆様の信頼を得、喜んでもらえる行政サービスをテーマに“安全・安心な街づくり、活力のある街づくり”に貢献したいと考えております。

“住民の皆様の満足する良質なモノづくり”を、貴協会の皆様とともに取り組んでまいりたいと考えております。

今年もよろしくお願いいたします。



平成15年度 大臣顕彰一覧

～ 安全優良職長労働大臣顕彰 ～

氏名	会社名
今岡勝康	今岡工業(株)

～ 優秀施工者国土交通大臣顕彰 ～

氏名	会社名
山本憲一	(株)中筋組
金山修	昭和開発工業(株)

平成14年度施工 島根県優良建設工事知事表彰

部門	工事名	施工業者	現場代理人
河川	神戸川(新内藤川) 広域基幹河川改修工事 第3工区(井原橋下部工)	(株)トガノ建設	飯浜 健
	境川 河川緊急整備工事(その3)	(有)山下組	角 隆二

平成14年度施工 優良農林土木工事所長表彰一覧表

出雲農林振興センター

部門	工事名	施工業者	現場代理人
土地改良	平成14年度 簸川西3期地区 農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業 道路工(その3)工事	長浜工業(株)	川上 信行
	平成14年度 くい地区 かんがい排水事業(排水対策特別型)排水路(1)工事	(株)フクダ	犬山 宏夫
	平成13年度 やまゆりの郷地区 中山間地域総合整備事業(広域連携型) 農道高津屋線道路工(その4)工事	(株)新井建設	神田 厚
	平成13年度 稗原地区 かんがい排水事業(一般型)第2ブロック用水管路(その2)工事	(有)森山組	江戸 満
農林地防災	平成14年度 東地合地区 海岸保全施設整備事業護岸その3工事	(株)倉橋工務店	西村 修司
森林土木	平成14年度 林地荒廃防止事業(朝山中)	吉田建設工業(株)	神田 繁男
	平成14年度 自然環境保全治山事業(立久恵)	今岡工業(株)	清水 亮

平成14年度施工 優良建設工事表彰一覧表

出雲土木建築事務所

部門	工事名	施工業者	現場代理人
道路	三刀屋佐田線 反辺工区改築(改良)工事	(有)三原組	大矢 祐美
河川	神戸川(赤川) 広域基幹河川改修工事 第1工区(高瀬川函渠工)	長浜工業(株)	索手 只敏
	神戸川 河川環境整備工事	(株)土井豆組	大矢 孝幸
砂防	阿式谷川 通常砂防工事(セ口国)	(有)間壁組	飯塚 寿雄

港湾	河下港 港湾環境整備工事(第2期)	(株)中筋組	名原 勇司
都市計画	今市川跡線 都市計画街路事業(交A) 電線共同溝整備工事	大福工業(株)	安食 優
建築	県立光風園 改築(地域交流棟建築)工事	グリーン建設(株)	亀瀧 忠司
	島根県営住宅(大社町原町団地) 建設(第1期B工区建築)工事	(株)内藤組	恩村 章文

現場代理人表彰

出雲土木建築事務所

部門	工事名	施工業者	現場代理人
道路	国道184号 道路災害防除工事	今岡工業(株)	田部 寿志
	大社日御碕線 杵築工区 大社町公共下水道浜山雨水渠整備工事(1工区)	(株)中筋組	堀江 修二
河川	新内藤川 床上浸水対策特別緊急工事 第1工区(矢野西橋下部工)	(株)中筋組	北村 広
	神戸川(新内藤川) 広域基幹河川改修工事 第10工区(井原橋下部工)	(株)トガノ建設	苅田 裕二
都市計画	今市川跡線 都市計画街路事業(交A) 道路改良工事その2	大福工業(株)	小村 孝男
	浜山公園 都市公園事業園路舗装工事	(株)谷本組	藤間 光良

島根県優秀建設現場従事者 知事顕彰

氏名	会社名
三島 昇	(有)協立工業

出雲土木建築事務所長コメント

今年度から、優良工事の現場代理人の方だけでなく、工事成績点で優良の評価を受けられた工事の現場代理人(主任技術者)の方も表彰することといたしました。今後とも、公共工事の重要性から受益者の視点に立った施工監理に心がけられ、多くの優良な工事が施工されますことを望むものです。



島根県優良建設工事知事表彰を受賞して



(株)トガノ建設
新内藤川広域基幹河川改修工事
第3工区(井原橋下部工)
現場代理人 飯浜 健

今回施工した工事は、県道出雲大社線の井原橋の架替えをするというものでした。出雲大社や島根ワイナリー等観光施設へのアクセス道路であることから、普段より交通量が比較的多い場所だったので、特に迂回路設置工の道路切替の際は発注者・協力業者と入念に施工方法を検討しました。又、近くに精密機械を扱う工場や喫茶店・カラオケボックス等があった為、近隣対策にも注意を要しました。

そこで、今回の施工に当り特に以下の点に留意しました。

- 1、県道出雲大社線という幹線道路での工事の為、迂回路設置に際して、**昼間の交通規制許可が取れず夜間作業となった**ので、事前に地元・学校等の関係機関に説明し了解を得てトラブル等がないようにしました。又、喫茶店・カラオケボックス等があった為、作業開始時間を遅らせるなどして店の営業に影響を与えないよう気を付けました。
- 2、近隣に精密機械を扱う工場がある関係で、**振動の発生を最小限に抑えて精密機械への影響が出ないようにしなければならない**ことから、特に既設橋梁撤去作業の際、当初は大型ブレーカのみで取壊すようになっていた作業方法を見直して、まず薬液注入による静的破碎工法で大割し、次にコンクリート圧砕機で小割するという2段階での施工方法に変更した結果、大きな振動・騒音を発生させることなく取壊し作業が出来ました。
- 3、今回施工した下部工の真下に下水管(φ1500)があるという状況の中で、その下水管に影響を与えずに、**基礎杭の施工をしなければならなかった**ので、まず位置の確認方法を検討しました。下水管の位置が水中であった為、直接掘削による確認や、センサー等での確認が出来なかったので、予め測量で見当をつけた場所に、小型のH鋼を上からゆっくりと挿入して当りを確認するという方法で位置の把握をしました。ちなみに高さについては、H鋼の残尺で確認しました。その結果を基に基礎杭の施工箇所を決定し、下水管に影響を与えることなく無事に下部工本体の施工へとつなげていく事が出来ました。

上記以外にも留意した事はいろいろありましたが、発注者・上司・現場スタッフ・協力業者及び地元の皆さん方の協力を得ながら、一つ一つ解決策を見出して現場を完成させた結果が、たまたま今回の受賞につながったのかと思います。

今後も、この受賞を励みに、現場に携わる人々と協力し、又感謝する事を忘れずに現場管理に邁進していこうと思っています。





島根県優良建設工事知事表彰を受賞して

(有)山下組
境川河川緊急整備工事 (その3)
現場代理人 角 隆二

平成14年度境川河川緊急工事 (その3) において優良建設工事知事表彰を頂き大変嬉しく光栄に思っております。

この工事を振り返って見ますと様々な思い出がよみがえって参ります。

工事施工箇所が我が社の地元でも有り、工事関係者、自治会また宍道湖名産のシジミ漁をされている漁業会の皆様には大変協力を頂き感謝しております。

この工事は前年度より、生活道路としての市道を河川緊急整備と合わせ橋梁工事と同時に施工されており、地元では車両通行止めの為長い間大変不便をされていることもあって、一時も早い開通を待ち望まれておりました。 私たちもそれに応えるべく関連他社工事との連携を密に工程の進捗に特に気を使うとともに、この年の後半は天候不良が多く工程管理の他に品質管理にも苦労したところです。その甲斐があって12月終わりに新しい「境川橋」の開通式を無事行う事が出来、当日もまたこの工事で悩まされた悪天候を象徴するかのよう大変な風雨となりましたが、感無量であったことを思い出します。

現場での協議事項等、監督員の的確な指示指導があり順調に推移した事についても大変感謝致しております。ひとつの工事を完成させるために互いの信頼関係の大切さを改めて感じました。

この県知事表彰を受け、自分の人生の中でひとつの記念碑ができました。今後さらに困難な工事に当たる事もあると思いますが、この受賞を励みにまた新しい記念碑ができるよう頑張りたいと思います。

終わりに、この工事を無災害で完成させることが出来た事は関係各位の御協力があった賜物と心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



“年男”の抱負



本年申年2004

(株)トガノ建設
梶野治彦



私も本年1月とって満60歳となり、恒例の原稿をと頼まれて、オイルショック・老いるショックを感じながら筆をとりにつけり。

松下幸之助翁の好きな『青春』という詩があります。年を取ると俺もこう思うのかなと若い頃感じたものでしたが、改めて今思い出しています。

売り手市場から買い手市場の時代。物不足から物あまりの時代。量から質の時代。物を売るには、経済学より心理学の時代。適正価格なんてあってないようなもの、売る側が原価割れをしても市場が売価決定する。など、我々を取り巻く変化は、猿も目を回す変化ではないかと60才の老化猿は思うのであります。

食べるものがなかった時代に生まれた私にとっては、この60年の変化は大きなものであるが、よく考えれば、いつだって時代は変化しているし変化し続けている。気づいていなければ取り残されて行く。そのことは、即、淘汰されると言うことに繋がる。怖いと感じているお猿であります。

今後は以下のような気持ちになる努力をしつつ生きて行かねばと思う・・・。

『青春』(サミエル・ウルマン)

青春とは人生のある期間ではなく、心の持ち方を言う。

薔薇の面差し、紅の唇、しなやかな手足ではなく、たくましい意志、ゆたかな創造力、燃える情熱をさす。青春とは人生の深い泉の清新さをいう。

青春とは臆病さを避ける勇気、安きにつく気持ちを振り捨てる冒険心を意味する。

ときには、二十歳の青年よりも七十歳の人に青春がある。年を重ねただけで人は老いない。

理想を失う時初めて老いる。歳月は皮膚にしわを増すが、情熱を失えば心はしぼむ。

苦悩・恐怖・失望により気力は地に這い精神は芥になる。

七十歳であろうと十六歳であろうと人の胸には、驚異に魅かれる心、幼子のような未知への探究心、人生への興味の歓喜がある。君にも吾にも見えざる駆遣が心にある。

人から神から美・希望・よろこび・勇気・力の靈感を受ける限り君は若い。

靈感が絶え、精神が皮肉の雪に覆われ、悲嘆の氷にとざされるとき、二十歳であろうと人は老いる。頭を高く上げ希望の波をとらえる限り、八十歳であろうと人は青春にして己む。